

富山市の中央を貫流する松川沿い2 kmの両岸に植えられたサクラ並木、彫刻も配置。松川にはコイが遊泳、民間団体や小中学生のボランティア活動で管理。



富山市の中央部を貫流する松川、約二キロの両岸にあるサクラ並木は、色とりどりのコイの遊泳する清流と相

まって、緑豊かなオープンスペースとして市民に親しまれてきた。近年親水性、自然性を高めるため、河川

環境整備を行うとともに、文化性を織り込む試みとして彫像が緑陰の中に配され、今では「郷土を花と緑で飾ろう」のテーマのもとに、さまざまな住民団体や小・中学生がボランティア活動により、除草・清掃などを毎年実施し、松川辺りを守り育てている。

さらに、このサクラ並木道をさらに魅力あるものにするため、とやま21世紀水公園フランを策定し、周辺一帯を伝統と歴史・文化地区として整備しようとする試みもなされている。

春のサクラをはじめ四季折々の移り変わりを見せるこの並木道は、憩いとふれあいの場、子供達の成長の場として、市民に欠かすことのできない存在になっている。

データボード⑬

- ① 富山県富山市新桜町
- ② 富山市役所 ☎0765-31-6111
- ③ 延長2 km、幅員5～6 m
- ④ 彫刻20基、歌碑2基、歩道舗装、花壇、休憩場
- ⑤ ニシキゴイの放流、富山まつり

